

## 『第1回入来麓たのしいまち歩き』 意見交換会メモ

日時 令和4年10月30日(日) 13:00~14:00

場所 入来小学校体育館

入来花水木会主催の第1回『入来麓たのしいまち歩き』は、一般の参加者が27名(最年少10歳。最年長92歳)。大学生および短大生19名と先生2名、入来花水木会会員14名(内ガイド1名)総勢60名に、もう一人入来麓のベテランガイド1名を加え61名の参加者で実施されました。まち歩きを12時に終え、入来小学校体育館で昼食会(12:00~13:00)のあと、『入来にまつわるお菓子で茶話会』(13:00~14:00)を開いて、意見交換を行い、貴重な感想・意見をたくさん頂きました。

入来院久子会長がお礼の挨拶をのべ、今回のまち歩きをプロデュースして下さった石田尾博夫先生(第一工科大学、入来花水木会役員(アドバイザー))、ご支援下さった平瑞樹先生(鹿児島大学)、岩切朋彦先生(鹿児島女子短期大学)、奈良迫英光さん(元鹿児島県観光アドバイザー、入来花水木会副会長)、そしてまち歩きに参加して下さった鹿児島県教育庁文化財課の南芳浩課長さんの紹介があり、入来院会長の進行で、意見交換に入りました。出された感想・意見を以下に箇条書きにしました。(文責:入来花水木会事務局)

---

(1) こんな小学校があったのだと、入来小学校にはびっくりし、感動した。たのしいまち歩きだった。馬場が広い。江戸時代の町並みに今も人が住んでいるのに感動した。

(2) 石垣がきれいだった。加世田からきた。きれいによく保存されている。ガイドさんの説明もていねいだった。きれいな、まとまった石垣が残っているのは、強い武士団がつくったのだなと思われた。

(3) 鹿児島女子短大の学生。自然が残っている。鹿児島にもこんないいところがあるのは興味深かった。とても楽しかった。

(4) 石垣がきれい。初めて入来にきてよかった。

(5) 石垣の町並みがきれいだった。坂があつたりで、いやされて楽しい時間だった。

（６）入来麓に疎開し、終戦のとき、中学校、高校を過ごした。なつかしく散歩させてもらった。こんなところがあったのだと、昔の思い出がよみがえってきた。今回が第一回のまち歩きだったそうだが、今後もこの企画を続けて欲しい。

（７）車では通るが、中まで入ったことがなかったので良かった。４人できた。親がなつかしがっていた。

（８）霧島市の牧園からきた。小学校正門から登下校。しあわせな小学生だなと思った。

（９）鹿児島県教育庁の南課長さんのコメント。入来麓のきれいさから、住んでいる人々の地元への思いが伝わってくる。

（１０）何度か足を運んでいたが、きょうはガイドさんの案内があって良かった。茶の木が石垣に植えてある。昔のまんまがある。

（１１）夫婦でよく通る。くわしく説明してもらって、きょうはよかった。山城を歩いたこともあった。

（１２）中国からの留学生。経路に昔の雰囲気を感じられてよかった。近くにこんなところがあるのでおどろいた。



意見交換会の風景

(13) 平先生のコメント。入来牧場にはよく来ている。今回鹿児島大学生6人ときた。景観がよく保全されている町並みである。

(14) 鹿児島大学生。すてきな町だと思った。あらためて歩いてみて良かった。

(15) 石垣の景観が保たれている。道がまっすぐなのにびっくりした。

(16) 串木野からきた。家内とまたきたい。

(17) 小学生。鹿児島にこんないいところがあることを知らなかった。

(18) 中国からの留学生。とても楽しかった。

(19) 石田尾先生のコメント。景観アドバイザーのあと、入来花水木会に加入して勉強している。中世の町並みが残っている。小さな石の石積みは先人たちの努力のたまものだ。人の手と自然との調和がとれて、住民が住んでいる。重伝建（重要伝統的建造物群保存地区）であり、日本遺産である。コンパクトにまとまったところである。桜の時期もいい。かわせみ、アオサギがいる。バードウォッチングなど、目的に応じて訪問して欲しい。年代の交流もいいし、若い年代の人たちの参加が欲しい。今回は、平先生、岩切先生に協力頂いた。次の第2回、3回につなげて行きたいと思う。

(20) 奈良迫さんの質問。①入来の場所を地図上で示せる人は何人いますか（結果6名）。②足りないもの。こんなものがあったら良いと思うものは何ですか。

(21) お弁当を食べられる公園、東屋（あずまや）、ゆっくり休める公園が欲しい。

(22) (女子大生) マスコットキャラクターやお土産店があつたらいい。

(23) 岩切先生から学生へ質問。①ここにコンビニがあった方がいいか、なくてもいいと思うか。②よい写真を撮れる撮影ポイントの案内があった方がいいか、なくてもいいか。

(24) コンビニはあったほうがいい。ここから撮ったらきれいな写真が SNS で送れるといったガイドラインがあった方がいい。

(25) 最近の若い人は、coffee カフェが好きだ。すわる場所が少ない。景観にあわせてお茶飲みどころを。

(26) (女子大生) 知覧は、武家屋敷の中にも、大きな道路沿いにもカフェがある。学生はカフェめぐりが楽しみだ。

(27) (女子大生) インスタ映えスポットをつくったら、石垣とかがきれいに撮れる。

(28) (女子大生) 石垣にハートマークをした石を見つける。

(29) (女子大生) 鎧(よろい)の試着体験は強みだと思う。SNS に取り上げたら、書き込みがたくさんあると思う。体験形の何かをやったらいいのでは。

(30) (女子大生) 歩いたら疲れるので、お休みどころがあったらいいと思う。

(31) (男子大生) 入来で暮らす人々の生活が感じられなかった。どのように生計を立てているのか知りたくなった。

(32) このままの入来でいい。

(33) 車で通るだけでは石垣が見えない。きれいな石垣があるという標識があったらいいと思う。

（３４）国分から直接川内に行くバスがないのでたいへんである。第一工科大学の建築学部の学生は、きっと武家屋敷の写真を撮りたいと思うだろう。鹿児島中央駅経由では運賃が高つく。バスの便が少ない。

（３５）岩切先生のコメント。景観にあうコンビニ、自動販売機。郷土館。疱瘡（ほうそう）踊り。東郷示現流。ザ・本物。本物のサムライが生きた町。羽織れば簡単にサムライになれる町。

（３６）石田尾先生のまとめ。First インプレッション。コンビニ。マスコット。東屋。カフェ。誘導路。インスタ映え演出。鎧。疱瘡踊り。示現流。薩摩琵琶の伝授。ハードとソフト。情報提供が重要。交通ルート。国分→中央駅→入来、コストが高つく。県内のあらゆる人がもう一回来てみたいと思う仕掛けをどうするか。

以上。

#### 【参考】

第１回「入来麓たのしいまち歩き」の実施報告 →

<https://www.iri-ki-hanamizukikai.jp/report/report20221030/report20221030A.htm>

第１回「入来麓たのしいまち歩き（写真集） →

<https://www.iri-ki-hanamizukikai.jp/report/report20221030/report20221030.htm>